

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授 業 時 期
形態機能学 I	1 単位 (30 時間)	三浦 大志 (大学講師) 上條 明生 (大学助教)	1 年前期

**【学習目標】**

人体の正常な構造と機能を理解し、全体の構成および各部分の構造を正しい用語を用いて記述でき、機能を説明することができるようにする。学習内容は人体の基本構成、消化器系、循環器系、ホメオスタシス、皮膚。

**【授業の進め方】**

教科書を基本に、パワーポイントを用いて講義を行う。補足資料を配付し、講義に活用する場合がある。

**【授業スケジュール】**

- 1 形態機能学を学ぶための基礎知識 (人体の階層性、細胞の構造と機能、細胞の構造と機能)
- 2 形態機能学を学ぶための基礎知識 (組織の分類と機能、構造と機能から見た人体)
- 3 呼吸器と血液の働き (呼吸器の構造)
- 4 呼吸器と血液の働き (呼吸器の構造 呼吸)
- 5 呼吸器と血液の働き (呼吸 血液)
- 6 呼吸器と血液の働き (血液)
- 7 呼吸器と血液の働き (血液)
- 8 血液の循環とその調節 (心臓の構造、心臓の拍出機能)
- 9 血液の循環とその調節 (心臓の拍出機能 末梢循環系の構造)
- 10 血液の循環とその調節 (末梢循環系の構造)
- 11 血液の循環とその調節 (血液の循環の調節)
- 12 血液の循環とその調節 (リンパとリンパ管)
- 13 外部環境からの防御 (皮膚の構造と機能)
- 14 外部環境からの防御 (生体の防御機構、体温調節)
- 15 試験

**【教科書】**

系看 専門基礎 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院

**【参考書】**

丸善株式会社 トートラ 人体の構造と機能 第5版

**【評価方法】**

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
生化学	1 単位 (15 時間)	三井 由香 (大学准教授)	1 年後期

**【学習目標】**

体の成分の成り立ちと健康を維持するための働きを学ぶ

**【授業の進め方】**

講義

**【授業スケジュール】**

- 1 細胞
- 2 遺伝子、タンパク質合成
- 3 タンパク質
- 4 糖質
- 5 脂質
- 6 酵素、糖代謝
- 7 タンパク質代謝、脂質代謝
- 8 試験

**【教科書】**

系看 専門基礎 人体の構造と機能 [2] 生化学 医学書院

**【参考書】**

なし

**【評価方法】**

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
病理学	1 単位 (15 時間)	市川 徹郎 (病院病理学医師)	1 年前期

**【学習目標】**

病気の原因となる身体的な異常や障害を理解する

**【授業の進め方】**

講義

**【授業スケジュール】**

- 1 病理学とは 病理医は何をしているの？ 病気の原因と分類、病理学の学び方、貴方の人生
- 2 細胞・組織の障害と修復、炎症
- 3 免疫、感染症
- 4 循環障害、代謝障害
- 5 老化と死、先天異常
- 6 腫瘍、生活環境と環境因子による障害
- 7 まとめ
- 8 試験

**【教科書】**

系看 専門基礎 疾病の成り立ちと回復の促進 [1] 病理学 医学書院

**【参考書】**

なし

**【評価方法】**

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授 業 時 期
微生物学	1 単位 (30 時間)	久保田 紀子 (臨床検査技師)	1 年後期
<p><b>【学習目標】</b>            病院（臨床）や公衆衛生分野で、将来、実務上接する事となる微生物に関する最新の情報を理解するための基礎的な力を養う</p> <p><b>【授業の進め方】</b>            現在の最新医学情報を論文等で呈示し、教科書や研究者のレクチャーを通じて読み解き、理解する。教科書の全内容に触れるが、学習の順序は教科者から逸脱する。</p> <p><b>【授業スケジュール】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業のためのレクチャーとがん免疫療法と常在微生物</li> <li>2 微生物の遺伝学と系統樹</li> <li>3 感染症の免疫：自然免疫</li> <li>4 感染症の免疫：獲得免疫、免疫記憶とワクチン</li> <li>5 感染症の免疫：ワクチンのある感染症と微生物</li> <li>6 原虫</li> <li>7 院内感染対策：感染の経路・滅菌と消毒</li> <li>8 : 術野と CDC 感染対策ガイドライン/分離率の高い細菌</li> <li>9 : 小児・高齢者の尿道感染 IDSA の感染対策ガイドライン</li> <li>10 : 肺炎と CDC の感染ガイドライン/球菌・ウィルス</li> <li>11 : 急性中耳炎と IDSA の感染対策ガイドライン</li> <li>12 化学療法と抗菌薬・耐性菌/病原真菌</li> <li>13 ウィルス感染症/輸入感染症</li> <li>14 全体の復習</li> <li>15 試験</li> </ol> <p><b>【教科書】</b>            系看 専門基礎 疾病の成り立ちと回復の促進 [4] 微生物学 医学書院</p> <p><b>【参考書】</b>            なし</p> <p><b>【評価方法】</b>            筆記試験</p>			

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
保健医療論	1 単位 (15 時間)	坂本 泰啓 (保健福祉事務所長) 須藤 恭弘 (感染症医療対策監)	1 年後期

**【学習目標】**

現代の医療・医学がどのように発展してきたかの歴史と、近年の医療を取り巻く状況を理解し、医療従事者としての姿勢を学ぶ。

**【授業の進め方】**

講義, グループワーク

**【授業スケジュール】**

- 1 日本の医療の特徴、衛生行政におけるトピックス
- 2 感染症の行政対応 (結核、新型コロナウイルス感染症)
- 3 医療倫理、衛生行政におけるトピックス
- 4 医学・医療のあゆみ
- 5 医学・医療のあゆみ
- 6 健康と疾病
- 7 健康と疾病
- 8 試験

**【教科書】**

新体系看護学全書 別巻 現代医療論 メヂカルフレンド社

**【参考書】**

国民衛生の動向 厚生統計協会

**【評価方法】**

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授 業 時 期
形態機能学Ⅱ	1 単位 (30 時間)	中畑千夏子 (大学講師) 上條 明生 (大学助教)	1 年全期

#### 【学習目標】

人体の構造と機能を理解し、全体の構成および各部分の構造を正しい用語を用いて記述でき、機能を説明することができるようになる。学習内容は生殖・発生・老化、骨格・筋系、神経系。

#### 【授業の進め方】

教科書を基本に、パワーポイントを用いて講義を行う。補足資料を配付し、講義に活用する場合がある。

#### 【授業スケジュール】

- 1 生殖・発生と老化のしくみ (男性生殖器、女性生殖器)
- 2 生殖・発生と老化のしくみ (受精と対峙の発生、成長と老化)
- 3 からだの支持と運動 (骨格とはどのようなものか、骨の連結、骨格筋)
- 4 からだの支持と運動 (体幹の骨格と筋)
- 5 からだの支持と運動 (上肢の骨格と筋)
- 6 からだの支持と運動 (下肢の骨格と筋)
- 7 からだの支持と運動 (頭頸部の骨格と筋)
- 8 からだの支持と運動 (筋の収縮)
- 9 情報の受容と処理 (神経系の構造と機能)
- 10 情報の受容と処理 (脊髄と脳、脊髄神経と脳神経)
- 11 情報の受容と処理 (脳の高次機能、運動機能と下行伝達路、感覚機能と上行伝達路)
- 12 情報の受容と処理 (眼の構造と視覚)
- 13 情報の受容と処理 (耳の構造と聴覚・平衡覚)
- 14 情報の受容と処理 (味覚と臭覚、疼痛)
- 15 試験

#### 【教科書】

系看 専門基礎 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院

#### 【参考書】

丸善株式会社 トートラ 人体の構造と機能 第5版

#### 【評価方法】

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授 業 時 期
形態機能学Ⅲ	1 単位 (30 時間)	中畑千夏子 (大学講師) 三浦 大志 (大学講師) 上條 明生 (大学助教)	1 年後期
<p><b>【学習目標】</b></p> <p>人体の正常な構造と機能を理解し、全体の構成および各部分の構造を正しい用語を用いて記述でき、機能を説明することができるようになる。学習内容は泌尿器系、血液・造血器系、内分泌系、呼吸器系。</p> <p><b>【授業の進め方】</b></p> <p>教科書を基本に、人体の構造と機能に関してパワーポイントを用いて講義を行う。補足資料を配付し、講義に活用する場合がある。</p> <p><b>【授業スケジュール】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 体液の調節と尿の生成 (腎臓)</li> <li>2 体液の調節と尿の生成 (排尿路)</li> <li>3 体液の調節と尿の生成 (体液の調節)</li> <li>4 血液・造血器系 (血液の成分、性状と組成、血液成分の産生)</li> <li>5 血液・造血器系 (血球、酸素飽和度、血球破壊、)</li> <li>6 血液・造血器系 (生体防御に関わる細胞 免疫、血液型)</li> <li>7 内臓機能の調節 (自律神経系による調節、内分泌系による調節)</li> <li>8 内臓機能の調節 (全身の内分泌と内分泌細胞)</li> <li>9 内臓機能の調節 (ホルモン分泌の調節、ホルモンによる調節の実際)</li> <li>10 栄養の消化と吸収 (口、咽頭、食道の構造と機能)</li> <li>11 栄養の消化と吸収 (腹部消化管の構造と機能)</li> <li>12 栄養の消化と吸収 (膵臓の構造と機能)</li> <li>13 栄養の消化と吸収 (胆のうの構造と機能)</li> <li>14 栄養の消化と吸収 (肝臓の構造と機能)</li> <li>15 試験</li> </ol> <p><b>【教科書】</b></p> <p>系看 専門基礎 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院</p> <p><b>【参考書】</b></p> <p>丸善株式会社 トートラ 人体の構造と機能 第5版</p> <p><b>【評価方法】</b></p> <p>筆記試験</p>			